



# タウンと



## 『大きくなって帰ってきてね!』

大丸小学校のふ化場で生まれたウミガメを9月4日、児童たちが横瀬海岸から放流しました。

今年は、108個の卵から73匹のウミガメがふ化しました。この日は、午前中に小学3年生11名が13匹放流し、残りの60匹は夕方に、保護者を含めた約60名により放流しました。

ウミガメの生存率は、約5000分の1といわれており、小さいうちは、えさが取れなかったり、鳥や魚に食べられたりします。そういったことから、放流する時間帯は、外敵の少ない朝方か夕方に行うのが好ましいようです。

放流されたウミガメは、打ち寄せる波に立ち向かいながら、必死に海へと帰っていきました。

子どもたちは、「大きくなって帰ってきてね」と手を振り見送りました。



## 『鹿屋体育大学で剣道交流会』

9月13日、鹿屋体育大学において、大学開放事業の一環として、剣道競技を通じたスポーツ交流会が開催されました。

スポーツ交流会では、鹿屋体育大学の指導教官や大学生が指導を行うもので、大崎小学校と大丸小学校、大崎中学校と菱田中学校の団員、部員合わせて約60名が参加し、汗を流しました。



交流会では、向上心の高揚、正しい打突の習得、少年期におけるトレーニングのあり方などについて学びました。

参加した児童・生徒たちは、大学生たちと竹刀を交わすことができ、自身のレベルの向上につながったとともに、貴重な体験となったようです。



## 『親子そろってキャベツ植え付け』

9月27日、田中集落において、新・農村振興運動むらづくり活性化戦略モデル事業としてキャベツ(セル苗)の植え付けが行われました。

これは、「キャベツを作って旅行に行こう!」という目標を掲げるとともに、田中集落の活性化と、子ども達の情操教育の一環として取り組まれ、この日は、45人の親子連れが参加しました。

子ども達は、土にまみれながらも、一生懸命作業をしていました。